



AI機械学習が モーターを診断

振動データを集めて、ユーザーが閾値管理し、
誤報が多い予知保全で満足できますか？

ADI OtoSense™ スマート・モーター・センサー (SMS) は、
AI機械学習でモーターの異常を検知し、
予期せぬ稼働停止を減らし、工場の保全費や電気代削減を
実現します。
修理計画の最適化や部品在庫の余剰を削減します。

多くの異常検知に対応、対処法も通知

- ▶ 9種の電氣的/機械的異常を検知し10段階で表示
- ▶ 異常の兆候は見逃しません。



電源システム



シャフトバランス



アライメント



ベアリング



エアギャップ



冷却システム



回転子



固定子巻線



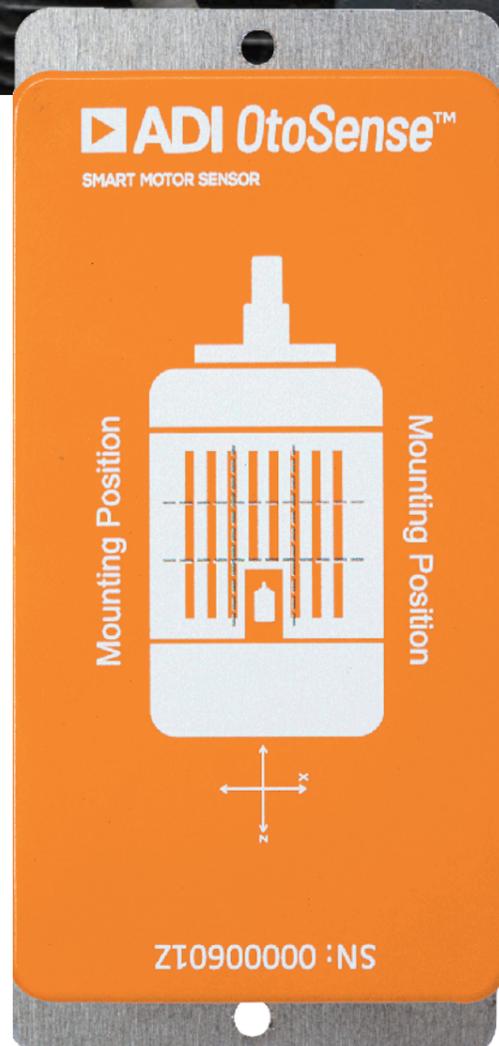
機械的緩み

15分で導入可能

- ▶ モーターにクランプで固定するだけで設置完了
- ▶ バッテリー駆動なので配線不要
- ▶ 工場などで稼働するほとんどのモーターに対応します。

専門知識は一切不要

- ▶ 取り付け後、自動で学習し、終了後に診断開始
- ▶ 異常を検出すると、スマホやPCにアラーム送信
- ▶ 見やすく分かりやすいユーザーインターフェース



【実寸大】146×70×42mm



スマートモーターセンサーの仕組み



- SMSの登録、設定
- 警告
- モーターの状態監視

1つの画面で全てのモーターを監視・管理。



- 電池寿命1年強
- ユーザで交換可能

セキュリティに配慮された設計

高精度に異常を検知できる理由

- ① モーター情報
- ② 初期学習データ (約4週間) *24時間稼働時
- ③ 異常検出アルゴリズム自動生成

「新製品情報」3月号特別ウェビナー

AIにお任せ！産業用誘導モーターの予知保全 「OtoSenseスマートモーターセンサー」

参加
無料



AIがモーターの健康診断まで行う画期的な予知保全ソリューションです。これまでの予知保全は振動データを集め、標準的な閾値を超えたことを通知するだけで、ユーザー自身が振動の原因を探する必要がありました。スマートモーターセンサーはユーザーをデータ収集、閾値管理、診断から解放します。センサー取り付け設定は約15分で完了、自動で個別モーター毎の学習が始まり、約4週間後に監視モードに移行、通信はWi-Fi、診断はクラウドを利用します。

講師

アナログ・デバイス株式会社
インダストリアルグループ
シニアプリンシパルアカウントマネジャー

石田 浩史氏

日時

2023年3月9日(木)
11:05~11:25・オンライン(ZOOM)開催

■主催:日刊工業新聞社 ■協賛:アナログ・デバイス(株)
■開催詳細・お申込み▶<https://shinseinjoho.info/ai2303>



想像を超える可能性を
AHEAD OF WHAT'S POSSIBLE™

アナログ・デバイス株式会社

本社 〒105-6891 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワービル10F
大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36 新大阪トラストタワー 10F
名古屋営業所 〒451-6038 愛知県名古屋市中区牛島町6-1 名古屋ルーセントタワー 38F

analog.com/jp

資料請求番号 12303-03301